

ともひろ
かじや知宏 議員報告



〈生年月日〉昭和43年9月12日 〈年齢〉46歳 〈出身地〉大阪府枚方市 〈趣味〉読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り 〈血液型〉O型
〈経歴〉阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

〈市役所〉〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

〈自宅〉〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>

市自転車駐車場の管理・運営

公募による選定でサービス向上と行政コストの削減を

枚方市議会の9月議会で、市内に20か所ある「枚方市自転車駐車場」の管理・運営について、非公募により枚方市シルバー人材センターを指定管理者に指定する議案が上程され、可決しました。指定管理者制度とは、市民サービスの向上や行政コストの削減を図る目的で、公の施設の管理・運営に民間事業者のノウハウを活用する制度です。



〈解説〉指定管理者の選定については、条例で「公募しなければならない」と規定されており、非公募による選定は、「緊急性」「合理性」がある場合にだけ認められる例外です。市は平成18年からこれまで3期9年間にわたり、「高齢者の就労支援」を合理的な理由として、シルバー人材センターを非公募で指定管理者として選定してきました。今回で4期目、当初からすると12年間、同じ事業者が年間約2億円にも上る市の事業を請け負うことになります。これでは、公正な競争原理が働かず「サービスの向上、効果的・効率的な管理・運営」といった指定管理者制度本来の意義や効果が十分に実現できるのか疑問が残ります。大阪府内で自転車駐車場に指定管理者制度を採用している自治体は、公募が11市であるのに対し、非公募でシルバー人材センターを選定しているのは枚方市を含め4市しかありません。

非公募の理由である「高齢者の就労支援」は一定理解できますが、公募にしたとしても応募する民間事業者に対し高齢者雇用を条件として義務付けることも可能です。今後、事業者の選定に当たっては非公募を見直し、競争原理の働く公募による選定を行うことで、サービスの向上や効果的・効率的な管理・運営に努めるよう提言しました。また、枚方市では生活困窮者をはじめ障害者、ニート・引きこもり等の若者などの就労支援も大きな課題です。自転車駐車場については、高齢者に限らずそれらの方々に対しても就労の機会を提供できる有効な場であると考えます。次回の選定からは、このような点にも配慮するよう提言しました。

税金の流れの透明化

ムダの排除

既得権の見直し

市民の手に税金と政治を取り戻します!!

活動の詳細はホームページをご覧ください

かじや知宏

で 検索



ブログのQRコード



tomohiro.kajiya



@kajiya_tomohiro

※フェイスブックとツイッターのアカウントを開設しています。

駅前報告を行っています

～510回継続中～

一人でも多くの市民の方に市政情報をお伝えしたいという思いから、午前6時20分頃～8時30分頃に駅前「議員報告」の配布を行っています。